

《地区の特徴》

- 全域が商業地域に指定されており、本町、中央大通を境に、北側は業務系が多く、南側は南に行くほど商業系の利用が多くなっている。
- 中之島(堂島川、土佐堀川)、道頓堀川といったオープンスペースが横断する。
- 大阪市指定文化財である4列のイチョウ並木が連続する。

■南部(本町橋～難波間:商業)ゾーン

①地区の現況

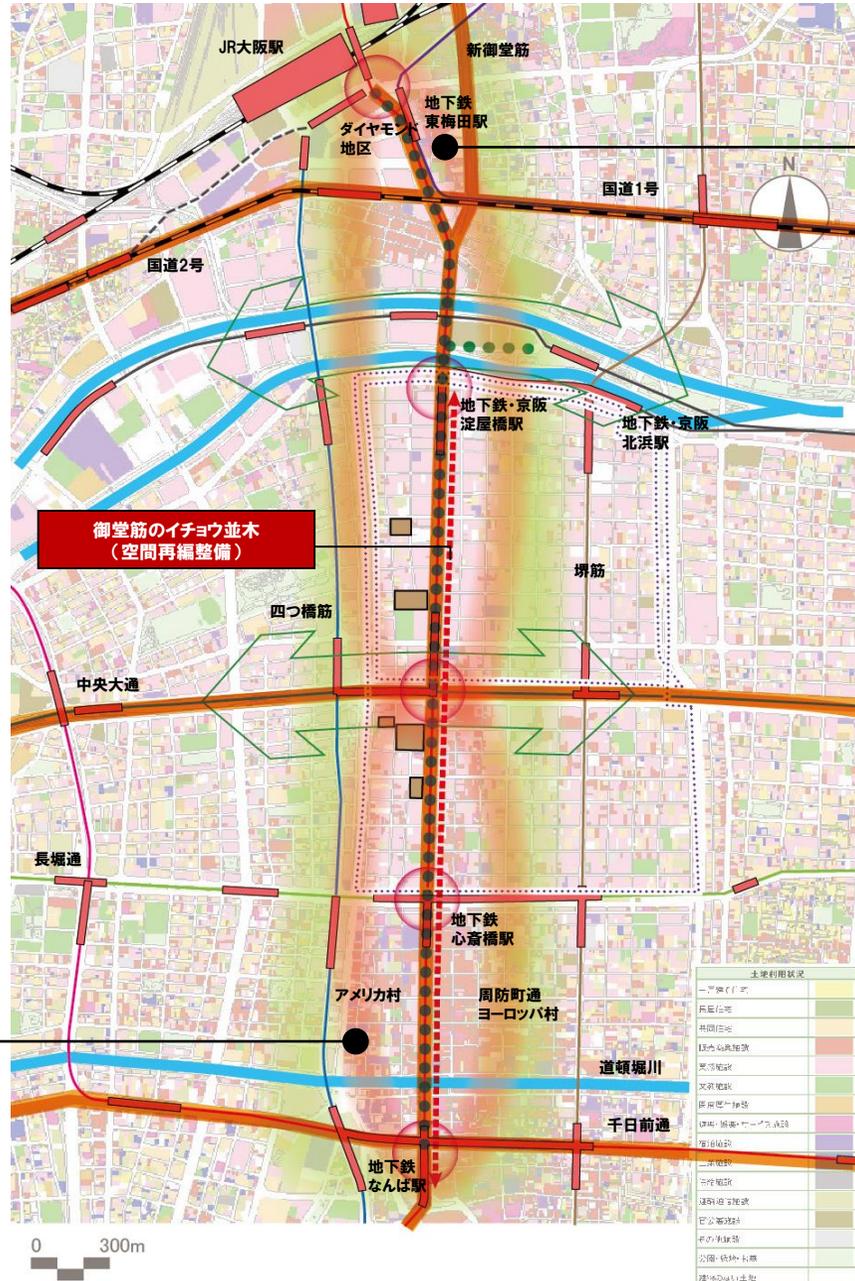
- 南に行くほど、商業地としての色合いが強くなっている。
- 南端には、オープンスペースとして道頓堀川が横断し、遊歩道が整備されている。

②課題の整理

- 御堂筋のイチョウ並木が、みどりのシンボル軸を形成しているものの、部分的に樹勢が弱まっている様子が見られることから、イチョウ並木の適正な保全を検討。
- 御堂筋の東側街区(本町以南)は、歩行者通行量が多いものの、アーケードが設置され商店街が形成されていることから、緑化が困難な状況にある。
- 北部ゾーンと比較して、民地内の緑が少ないことから、民有地緑化のあり方を検討

地区内の主な開発事業

- 御堂筋の道路空間再編



■北部(淀屋橋～本町間:業務)ゾーン

①地区の現況

- 業務施設が集積している。
- 「船場後退線」が指定され、指定街区(淀屋橋～長堀橋間)では、セットバックした多くの空間に緑化が施されている。
- 「御堂筋デザインガイドライン」では御堂筋以外の道路を対象として、並木が連なる快適な歩行空間を形成することが示されている。
- 御堂筋に面した箇所では、公開空地が多く存在し、ゆとりのある歩行者空間を創出している。
- 屋上緑化が施されたビルの点在が確認できる。

②課題の整理

- 御堂筋のイチョウ並木が、みどりのシンボル軸を形成しているものの、部分的に樹勢が弱まっている様子が見られることから、イチョウ並木の適正な保全を検討。
- 「船場後退線」や「御堂筋本町北・南地区地区計画(4mのセットバック)」による民有地内のオープンスペースでの緑化のあり方を検討

《凡例》

対象範囲	主な公園・緑地
ゾーンング (特性に合わせた地区分類)	主な寺社・歴史的資源
特化したゾーン	文教施設・その他公共施設
計画・開発地	軸状の緑
	主要幹線道路
	計画路線・鉄道

《地区の特徴》

- 中之島は田蓑橋、筑前橋(北区と福島区の区界)を境に東側には業務施設が、西側には文教施設や宿泊施設等が立地しているが、西側は駐車場として利用している未利用地も多く残る。
- 御堂筋東側の中之島公園や民有地の開発でも一定の緑量が確保され、質の高いまちづくりが行われている。

■文化・集客観光ゾーン

①地区の現況

- 土佐堀川の一部を除く河川沿いには緑豊かな中之島遊歩道が整備され、アクセス路やランニングコースとして多くの市民に利用されている。
- 敷地規模も大きく、公開空地における緑化も多く確認できる。
- 河川を縦断的に見ることが出来る橋梁上からは、水と緑による潤いある景観を視認することができる。
- 国立国際美術館をはじめとした文化・集客施設が点在する。

②課題の整理

- 未利用地が多いことから、今後の開発にあわせた緑化の誘導を検討
- 橋梁等、川面を通じて緑が感じられる視点場を活かした緑化の推進や、南北交差道路の街路樹をはじめとした緑の連続性の確保を検討
- 下福島公園「のだふじ」再整備事業、地域活動との連携を検討

地区内の主な開発事業

- 大阪新美術館整備計画(中之島4丁目)

■東部(中之島公園)ゾーン

①地区の現況

- 風致公園である中之島公園は、水辺と一体的な公園として再整備され、バラ園や芝生広場、カフェやレストランにより賑わい空間を創出している。
- 業務系施設が集積している御堂筋以西の川沿いには遊歩道が整備されており、緑豊かな環境を形成している。また、敷地規模も大きく、公開空地における緑化も多く確認できる。

②課題の整理

- 中之島公園を活用した更なる都市魅力空間の創造(レクリエーション、賑わい、集客観光)
- 公園、緑道、街路樹、民有地等による一体的な緑景観の維持管理水準を検討



《地区の特徴》

- 多くの企業が進出し、地区の開発が一定進捗している。
- 宅地規模が大きく、地区計画やまちづくり要綱などの活用により、壁面後退や宅地内緑地を誘導し緑豊かなまちとなっている。

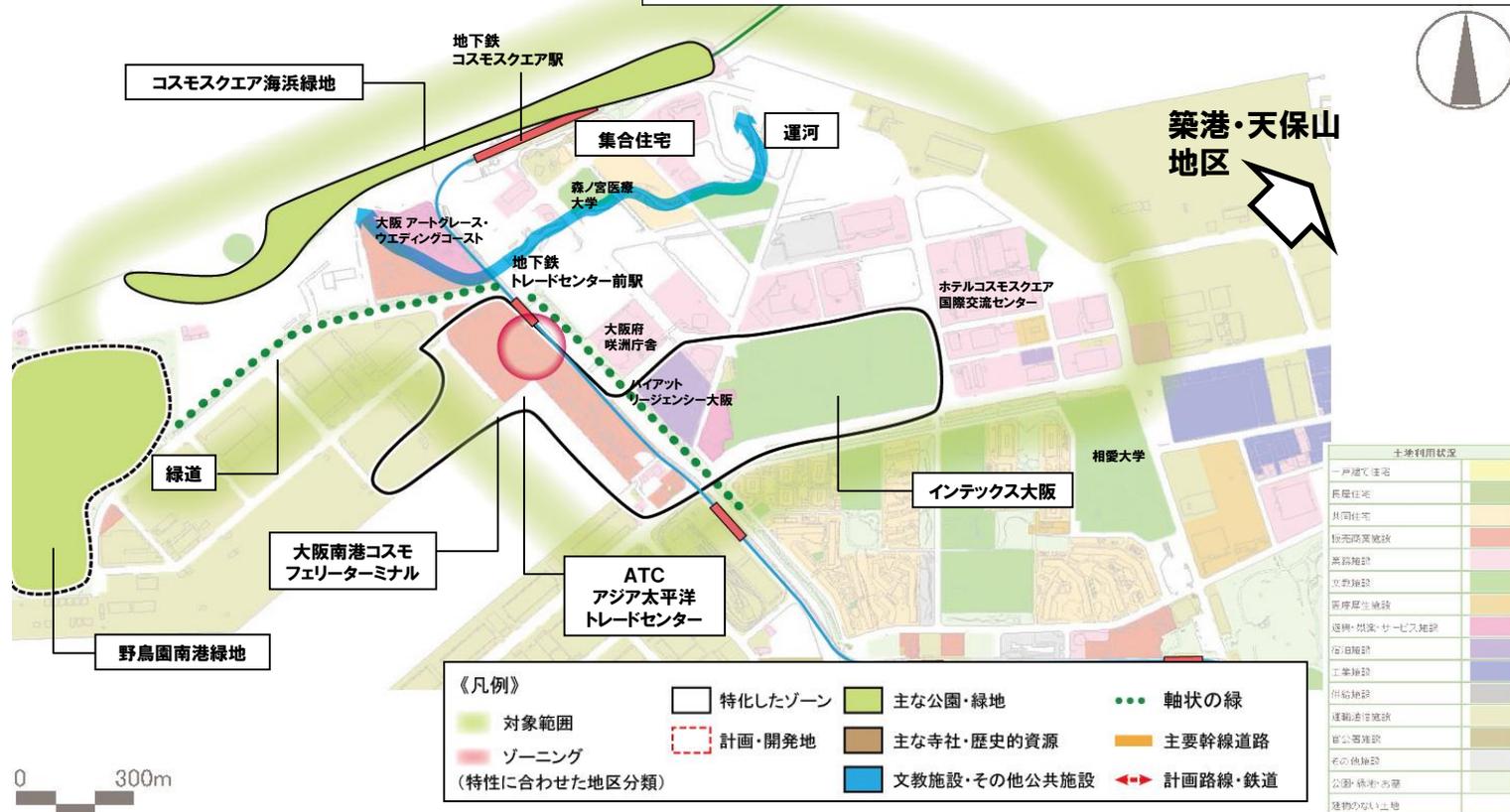
■コスモスクエアゾーン

①地区の現況

- 水辺を活用した野鳥園やコスモスクエア海浜緑地等を整備している。
- コスモスクエア駅南側の街区には、賑わいや潤いのある歩行者空間の創出を目指したキャナルを整備している。
- 平成29年1月31日、「大阪南港フェリーターミナル」にフェリー航路「大阪－志布志航路」の乗り場が移転し、フェリーターミナルとしての機能がさらに強化された。
- コスモスクエア海浜緑地内にある、もとき空館については、閉館中であり現在、民間による活用を検討中

②課題の整理

- 豊かな緑の維持管理水準の確保
- 未利用地の開発を促進しつつ、新たな緑の創出やキャナルを活用した空間形成など



土地利用状況	
一戸建て住宅	
長屋住宅	
共同住宅	
物売商業施設	
業務施設	
立地施設	
医療厚生施設	
運搬・物流・サービス施設	
付随施設	
工業施設	
付随施設	
運輸通信施設	
官公署施設	
その他施設	
公園・緑地・水辺	
建物のない土地	

《地区の特徴》

- 天保山・築港地区は、水際に集客施設や港湾物流施設が立地しており、内陸部と土地利用が異なる。内陸部には公園や道路、共同住宅のみどりなど、一定のみどりが確保されている。
- 基幹行政(区)の視点から地域のにぎわい創出や経済の活性化に取り組んでいる。

■築港・天保山ゾーン

①地区の現況

- 標高4.53mの築山「天保山」が立地する天保山公園はボリュームのある緑で覆われ、地区の憩い空間として人気を博している。
- 天保山ハーバービレッジ周辺道路には緑量のある高木が植えられ、天保山公園とともに、豊かな緑化環境を構築している。
- 海遊館、クルーズ船が来航する天保山岸壁などと駅を結ぶ天保山五条線は、「花の海遊ロード」として、官民協働の協議会で花かざりによる美化活動やイルミネーションによる景観形成などの取組みが行われている。
- 将来的なまちづくりに向け、「築港・天保山まちづくり計画」を策定中。

②課題の整理

- まちづくり計画と整合が取れた計画の検討
- 駅から天保山へのアクセス路であり、地区内のシンボリックな天保山五条線には高木と低木が植栽されているが、道路幅員が広く、緑量があまり感じられないことから、道路スケールにあった緑のあり方を検討
- 地域と連携した取り組みの検討



地区の考察

みどりの状況は開発動向により変化、まちづくりの計画との整合性

✓市街地整備事業が実施された地区では、民有地の規模も大きく、公開空地や建造物への緑化もされている。また、道路幅員も広く街路樹も整備され、一定の緑量が確保されている。

地区例) 新大阪・大阪地区(うめきた1期エリア、茶屋町エリア)、なんば・天王寺・あべの地区、大阪城周辺地区(OBPエリア)

✓まちづくりが進行中の地区、将来(短期・長期的)のまちづくりに向け構想や検討している地区があり、まちづくり計画と整合を図る必要がある。

地区例) 実施中・・・新大阪・大阪地区(うめきた2期エリア)、御堂筋周辺地区
 短期的な計画・・・中之島周辺地区、夢洲・咲洲・舞洲地区(築港・天保山エリア)
 長期的な計画・・・新大阪・大阪地区(柴島エリア)、大阪城周辺地区(大阪城東部エリア)、夢洲・咲洲・舞洲エリア(夢洲・舞洲エリア)

持続的なまちづくりのための、官民の連携・協働

✓地域によって、各種まちづくりに関する団体が結成されている。

例) 地域によるまちづくり団体：グランフロント大阪TMO、大阪ダイヤモンドシティ協議会、大阪ビジネスパーク開発協議会、御堂筋まちづくりネットワークなど
 官民連携したまちづくり団体：花の海遊ロード美化協議会(築港・天保山エリア)
 民間活力を活用した公園の維持管理：大阪城公園PMO事業、天王寺公園魅力向上事業(てんしば)

基本的な考え方

個々の取組みについては、地区毎の調査を踏まえ検討を進めていくが、地区特性を考慮した取組みの基本的な考え方は、

●大阪の顔にふさわしい緑化の推進

都市のイメージ向上につながる、地区の特性に応じた緑化の推進方針を策定する

●市街地整備事業などの事業機会をとらまえた新たな緑の創出の検討

まちづくり計画と整合を図り、市街地整備事業などとあわせ基盤となる緑の創出方法を検討

●市民・事業者・行政の連携による、効果的な緑化の推進を検討

地区の特性に応じた、市民・事業者・行政の役割を踏まえ緑化推進の取組みを検討

<今後の展開>

●地区の絞り込み

緑化重点地区のうち、一定の区域を設定することにより、設定地区への戦略的かつ重点的な緑化を実施

基本的な考え方

当面のまちづくりが 終了した地区

【地区例】

新大阪・大阪地区(新大阪エリア)
大阪城周辺地区(OBPエリア)
なんば・天王寺・あべの地区 など

- 街路樹や公園の維持管理水準をエリアごとに設定
- まちづくり方針に沿った市民、事業者、行政が連携した緑化の取組みを検討
- 既存ストックを活用した新たな魅力創出を検討
- 地区特性に応じた、民有地での緑化の方針を検討

まちづくりが実施中または 短期的に実施予定の地区

【地区例】

新大阪・大阪地区(うめきた2期エリア)
御堂筋周辺地区
中之島周辺地区(4丁目エリア) など

- 街路樹や公園の都市基盤整備と維持管理水準をエリアごとに設定
- 大阪の顔となる箇所でシンボルとなるみどりの創出
- 市民、事業者への緑化の取組みに対する支援を検討

長期的に、まちづくりが予定 されている地区

【地区例】

新大阪・大阪地区(柴島エリア)
大阪城周辺地区(大阪城東部エリア)
夢洲・咲洲・舞洲地区(夢洲・舞洲) など

- まちづくり計画の策定と合わせ検討

今後の計画検討のイメージ

